



1年間の締めくくり「生徒が主役！」の学校づくり

2024年が始まりました。今年は辰年ですが、その中の「甲辰（きのえ・たつ）」です。甲辰には、「新しいことに挑戦して成功する」「これまで準備してきたことが形になる」等、大変縁起の良い年になるといわれています。石岡中学校も、常に新しいことに挑戦し、更なる飛躍を図れるよう職員一同連携して参ります。

1月から3月は、3年生から1、2年生にたすきを渡す大切な期間となります。これまで、3年生は体育祭、部活動、桐苑祭とたすきをつないできました。年頭には、生徒会役員に任命書が授与され、いよいよ生徒会も代替わりしました。生徒会役員をはじめとする3年生の生徒達は、これまで工夫しながら、自分たちの活動を生み出してきました。1、2年生の生徒達は、前生徒会役員の思いをしっかりと受け継ぎ、「輝く」石岡中学校の新たな道を切り拓いていってくれることを期待しています。その中心となる生徒会役員は右のとおりです。

3年生の生徒達は、これまでと違ったそれぞれの道を進んでいきます。「がんばり続けた自分」と「支え合う仲間」、これまで石岡中学校を引っ張ってきたことに自信をもち、粘り強く、未来を切り拓いてほしいと思います。

今後も職員一同、力を合わせて様々なことに挑戦し、「生徒が主役」の学校づくりを推進していきたいと思います。保護者の皆様には、引き続き、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



新生徒会役員

生徒会長 渡邊唯桃さん

2年生役員

阿部泰之さん

坏ひなたさん

小林凱生さん

小吹滯さん

1年生役員

清原一花さん

小池亮さん

新井彰真さん

新年の抱負

僕の今年の抱負は、立派な先輩になることです。昨年僕は、先輩方と長い時間を過ごしてきました。そこでは、たくさんの先輩方に助けてもらいました。僕も、後輩を助けることができる先輩になりたいです。そして、模範的な先輩になりたいです。そう思ったきっかけは2つあります。

1つ目は、桐苑祭です。先輩方の合唱は、クラスが一致協力してまとまった一体感を感じました。そして、歌詞の一つ一つに思いが込められていて、とても心に響きました。それは、先輩方の桐苑祭に対する気持ちが大きく、本気で取り組んできた結果だと思っています。僕も、先輩方のような、物事に全力で推進することができるようになりたいです。

2つ目は、部活動の陸上競技部です。僕は、部活動を通して、たくさんのことを経験してきました。昨年の5月、入部したての頃に先輩方が優しく話しかけてくれたことを、今でもよく覚えています。初めての大会の時、1年生は僕1人でした。慣れない環境で緊張している中、温かく接してくれて、気持ちが和らぎました。とても嬉しかったです。その後、先輩と接する機会が増えました。一生懸命努力を重ねていることや、部活動を全力で楽しんでいることをとても尊敬しています。分からないことを聞く時も、よく答えてくれました。今度はそれを僕がやる番です。先輩から教えてもらった、部活動の楽しさを後輩たちに伝えていきたいです。

中学校生活の楽しさの一つは、学年の壁を超えた交流だと考えます。新一年生に信頼されるような、誠実さをもち、後輩のお手本となるような先輩になりたいです。そして、今の二年生、三年生のような立派な先輩になりたいです。

1年 栗原 侑大

新年となる2024年を迎え、私は昨年よりもより、自分自身の成長が感じられる一年にしたいと考えています。そして、そのために必要なことを、二つ考えました。

一つ目は、勉強の仕方を改めることです。二年生のこの時期は、よく「三年生ゼロ学期」と言われます。いよいよ今日から、三年生ゼロ学期が始まったことで、自分の将来についても、より本格的に考えなくてはならない時期になりました。自分の目指す職業に近付くため、また、志望する高校に入るためには、勉強を今よりももっと頑張らなくてはなりません。そのために、授業により真剣に取り組み、積極的に意見を出したり、自主学習やワークの取り組み方を、今よりもっと工夫したりして、自分の勉強の仕方を、改善していきたいと思います。

二つ目は、将来に役立つよう、自分の技能を向上させることです。私は将来、イラスト関係の職に就きたいと考えており、高校も、美術科のある高校に進学したいと考えています。調べてみると、私が目指している高校の入試には、現在の自分の画力を試される、実技試験があることを知りました。入試に合格するために、絵についての基礎的なことをより深く勉強し、色の知識やデッサン力を身に付けるなど、今よりももっと、イラストについての技能を向上させたいと思います。

二年生として過ごせる時間も、残り僅かとなりました。今の自分にできる精一杯のことを行い、自分の力をどんどん伸ばしていけるよう、有意義な時間を過ごしていきたいと思います。三年生に進級してから、スムーズなスタートが切れるよう、時間を大切につかい、何をすべきかよく考えて、頑張っていきたいです。

2年 西井 美織

私の新年の目標は3つあります。

1つ目は志望校に合格することです。私は、受験はこれまでの経験や努力が試される場であると思っています。今までの勉強してきたことが無駄ではなかったと思えるように精一杯受験に向き合い、全力を出すことができるようにしたいです。また、周りのみんなと協力して頑張ったり、先生方の助言をもらったりして受験に向かっていきたいです。志望校に合格することが第一ですが、後悔がなく来年度を迎えられるように、万全の体制で挑んでいきたいです。

2つ目は高校生活に向けて、自分の生活を見直していくことです。義務教育を終え、春からは何事にも自分から積極的に行動していくことができるようにしていけたらと思っています。特に家事の手伝いです。今までは勉強などで忙しく、なかなか家族のために行動ができず、親に任せっきりになっていました。しかし、来年度からは義務教育が終わった高校生。自分の意思で行動しなければなりません。そのための第一歩として、やっていない家事や、手伝えることがあったら、自ら進んでやっていきたいです。未来の自分のためにもどんどん手伝いをし、体に身に付けていきたいです。

3つ目は中学校での思い出をたくさん作りたいです。高校生になれば、皆それぞれ自分の道を歩いていくため、離れ離れになってしまうと思います。今のうちにたくさん思い出をつくって、忘れることのない充実した3ヶ月にしていきたいです。そして、この学年・クラスのみんなと笑顔で卒業できたらと思います。

3年間過ごした日々を忘れずに、残りの日々を過ごしていきたいです。

3年 小堀 柚子香

地域とともに～石中生の心温まる行動～

先月下旬、東石岡にお住まいの方が、お礼を伝えに来校されました。内容は以下のようなものでした。

東石岡二丁目の交差点で、高齢の女性が自転車で交差点を渡った際、縁石に乗り上げ転倒しました。女性は顎からひどく出血して、自力では立てないような状況でした。そこに通りかかった石岡中の生徒5名（2年生男子3名、女子2名）が、その女性に声をかけ、救助にあたりました。生徒たちはその場で女性の救護にあたる者と、山王台病院へ連絡に行く者の二手に分かれて対応をしました。山王台病院の職員に引き継ぐと、名前を告げずにその場を去りました。

救助された女性は、「大人でもできないようなこと。大事に至らず、本当に感謝している。」と石岡中生の行動に感動され、謝意を伝えられ帰られました。後日、2年生の生徒5名だということが判明し、校長から賞詞が送られました。

地域のために頑張れる生徒がいるということは、石岡中学校の誇りです。これからも「石中プライド」を心がけ、行動することができる生徒を育てていきたいです。